

自社レジデンスを大手ファンドに売却も

# TICビル取得など投資を活発化

## 仙台の地域振興に不動産活用で寄与

久保田ホールディングス（仙台市青葉区一番町4丁目4の33）久保田定代表取締役（縮役）が投資活動を活発化させている。

7月に仙台市中心部の一番町4丁目商店街（アーケード街）に面した「TICビル」について、同ビルを保有・運営してきた東一

センタービル株式会社の発行株式約95.7%を取得し、久保田ホールディングスのグループ会社化に至った。

TICビルは、戦後間もなく営業を始めた60店以上の飲食店などがひしめき合っていた「東一連鎖街」を対象に、土地を所有していた仙台東一センター商業

協同組合（当時）を母体とした東一センタービルが2007年に再開発事業に着手、09年12月上旬に竣工したRC造地下1階地上8階

建て、延べ約1万平方メートルの敷地面積1641.09平方メートルの施設。現在、ビル内部には7階にライブホール「Rensa」、6階に宮城

県赤十字血液センター、4〜5階に「二番町健診クリニック」、3階に「グラン・スポール エグゼ一番町」

などが入居するほか、2階では100円ショップや美容室、1階でドラッグストアやクリーニング店舗、模型店、飲食店などが、地下1階ではスーパーマーケットがそれぞれ営業を行っている。



久保田社長

久保田ホールディングスでは、株式取得とともに、旧商業協同組合時代からの営業者を中心に同ビル運営に関する信託契約で発生していた受益権も併せて取得、不動産M&A方式によりTICビルを取得するに至った。所在地は青葉区一番町4丁目9の18地内。また、久保田ホールディ

本社ビル前に飾った七夕飾りは3期連続で銅賞を受賞



れながら、仙台全体の地域振興に力を注ぎたい」と話す。先に行われた仙台七夕では、本社ビル前にひとときわ優美な七夕飾りで商店街の一角を彩り3期連続で銅賞を受賞、多くの市民や観光客が立ち止まって記念写真を撮る光景も見られるな

ど地元貢献活動にも積極的だ。久保田本店では、さらに最近では自社で保有するレジデンスを大手デベロッパー系の不動産投資ファンドに売却することも決まっており、今後さらなる事業の発展が見込まれるところだ。

ングスの中核である久保田本店は、現在、本社を置く仙台市一番町4丁目のトレンドビルのほか、スマイルホテルなどが入居する同4丁目3の22地内の一番町センタービル、カラオケビッグエコーが入る同4丁目3の30地内のARKAS一番町などのアーケード街に面する各ビルのほか、仙台タワービル西側に建つ同4丁目5の40地内のおのり一番町ビル、フォラス仙台店北向かいとなる広瀬通沿い同4丁目2の4地内のオーシャンビルなども保有（一部関連会社保有）している。久保田社長は「本社を置くばかりだけでなく、一番町4丁目地区への思い入れは人一倍強く持っている。将来的な再開発も視野に入